

## 第9回和牛甲子園（令和8年1月）に向けて（動物科学科）

講習日：R6.12.13

第8回和牛甲子園は令和7年1月に開催され、3年生が主に育成しました。第9回は2年生が候補牛4頭を育成しています。超音波画像診断（エコー検査）や採血を知多大動物病院に依頼し、これからの肥育牛の状態を把握、飼養給与量や飼養管理の改善点を考えていきます。



令和8年の岐阜県畜産共進会（枝肉の部）に出品1頭（12月）、和牛甲子園に出品2頭を選抜します。

	名号	性	自家/導入	アピールポイント
1	(れお) 玲桜	去勢	自家産	父牛は先行交配種雄牛「雪月桜（鹿児島全共出品）」。兄牛は第4回和牛甲子園に出品し、BMS.12となる。エコー検査では、僧帽筋の厚さが月齢に対して大きいと高評価。
2	(ともつくも) 友都雲	去勢	自家産	岐阜県の系統雌牛「ともみ系」の産子。7代祖岐阜県。母は岐阜県畜産共進会でR4、R5で優等賞を獲得。祖母は鹿児島全共繁殖雌牛群の候補牛。脂肪の質は◎の血統。
3	らんくる	雌	市場導入	郡上市の畜産農家より導入。岐阜県の系統雌牛「いとひめ系」の産子。毛がやわらかく、体幅が広く、体積感が特にすばらしい。子牛登記書の4代祖は岐阜県有種雄牛。
4	りん	雌	市場導入	ぎふ地域和牛改良組合農家より導入。甥牛が先行交配種雄牛「孝福将」。ロース芯面積やバラ厚がよく、脂肪交雑に期待できる血統である。また、小サシにも期待できる。

どの「牛」にも物語と「担当生徒」の努力がある。だから、私たちは「結果」を出す!!